



風しんにかからないために

成人の風しん予防接種費用が無料になります

市では、「先天性風しん症候群」の発生を予防するための緊急対策として、成人が受ける風しんの予防接種を無料で実施します。

健康推進課 ☎ 23-5311
または各総合支所市民福祉課

風しんが流行しています

全国で風しんの患者数が急増しています。県内でも感染が拡大し、昨年一年間で十三人だった患者数が、今年は六月までに六十四人となり、半年間で約五倍となっています。

免疫を持っていない女性が妊娠初期に風しんに感染すると、胎児にも感染し、目や耳、心臓などに障害を持つ「先天性風しん症候群」にかかることがあります。妊娠中の女性だけでなく、妊娠中の女性に感染することがないよう、周囲の人と協力して予防することが大切です。

また、今回のような風しんの流行に備え、麻しん風しん定期予防接種の対象になっている乳幼児は、忘れずに接種してください。定期予防接種は、対象者に配布している予診票で無料で受けられます。

成人の風しん予防接種

風しんを予防するため、成人の風しん予防接種を無

料で実施します。

風しん患者の多くは二十代から四十代の男性です。女性に限らず、男性も予防接種を受けましょう。

■対象者

大崎市に住民登録があり、次のいずれかに該当する人
① 妊娠を希望している二十歳～四十九歳の女性とその夫

② 妊娠している女性の夫

※妊娠している人または妊娠している可能性がある人は接種できません。
※接種後二カ月間は妊娠を避けてください。

■接種期間

平成二十五年七月一日～平成二十六年三月三十一日

■接種方法

市内の指定医療機関で無料で接種できます。接種の際は、医療機関に事前にお問い合わせください。また、運転免許証など住所がわかるものを持参してください。

自費で接種した人への助成

平成二十五年四月一日から六月三十日までに自費で風しん予防接種をした場合

【指定医療機関】

地域	医療機関名	電話番号	地域	医療機関名	電話番号	
古川	秋山内科医院	28-1909	古川	みやざき内科クリニック	25-9330	
	ありま小児科医院	22-7070		わんや産婦人科	21-0303	
	伊藤内科小児科医院	23-8866	松山	大崎東部クリニック	55-2511	
	いのせ医院	22-0777		大崎ミッドタウン総合メディケアクリニック	55-3349	
	永仁会病院	22-0063		三浦内科小児科医院	55-2136	
	遠藤皮膚科医院	23-4679		渡辺産婦人科内科	55-3535	
	大崎西部クリニック	87-3723		三本木	岩淵胃腸科内科医院	52-6211
	片倉病院	22-0016			近江医院	52-3057
	鎌田内科クリニック	24-1700	鹿島台	小野寺内科医院	56-2855	
	寛内科胃腸科クリニック	24-8822		佐久間内科医院	56-3700	
	佐々木医院	22-2290		渡辺外科胃腸科医院	56-5211	
	佐藤病院	22-0207	岩出山	大崎市民病院岩出山分院	72-1355	
	高橋医院	22-0791		櫻井医院	72-1030	
	千葉医院	22-3228		高橋医院	72-1005	
	富樫クリニック	23-4456		野村内科小児科医院	72-0254	
	長井内科医院	91-1020		鳴子温泉	木幡診療所	84-7012
	古川民主病院	23-5521	佐藤医院		82-2656	
	穂波の郷クリニック	24-3880	遊佐クリニック		81-1133	
松浦小児科医院	23-5677					

は、自費相当額（上限あり）を助成します。

■申請に必要な書類

① 接種費用が特定できる書類（領収書など）

※接種者氏名、接種日、接種

種ワクチンの記載がない場合、予防接種の証明書

類（診療明細書など）が必要になります。

② 申請者名義の金融機関の

通帳の写し

■申請期限

平成二十五年十二月二十七日（金）まで

■申請場所

健康推進課または各総合支所市民福祉課

市長コラム 天・地・人



感動！ 三浦雄一郎さん

冒険家でプロスキーヤーの三浦雄一郎さんが、標高八八四メートルのエベレスト登頂に成功しました。八十歳七カ月、史上最高齢での世界最高峰の登頂という快挙です。

標高八千メートル超の山は「デスゾーン」と呼ばれ、酸素濃度は平地の三分の一で、秒速三十～四十メートルの強風が吹き、気温も平地より五十度前後低く、高所医学専門家が「人間の生命力の限界点」という「死の領域」です。

日本人男性の平均寿命は七九・四四歳。世界トップの水準で、高齢化社会はとかく悲観的に語られますが、平均寿命を上回る年齢での登頂は、高齢者に夢と希望をもたらし、人類の可能性を広げた意義はきわめて大きいのです。しかも、三浦さんは七十六歳以降

がや心臓手術などの試練を乗り越えての偉業であり、三浦さんに触発されて他分野で夢を諦めず生き活きと輝きチャレンジする高齢者が登場してくるのが予感されます。

その三浦さんは、オニコウベスキー場のコースを設計していただいたご縁で大崎ともつながっています。長寿社会は長く寿ぐ社会を実現することです。健康な体の維持を目指す、健康長寿社会を自ら実践した三浦さんに惜しみない拍手を送ります。

国は、「三浦雄一郎記念日本冒険家大賞」を創設しました。三浦さんの快挙はシルバーやゴールドを超えるプラチナ社会の創造といわれる新しい日本の形、姿を予見させるだけの大事業でありましょう。万歳！三浦雄一郎さん！

大崎市長 伊藤康志